

何かが道をやってくる (1983)

SOMETHING WICKED THIS WAY COMES

メディア 映画

ジャンル SF ファンタジー ミステリー

製作国 アメリカ

時間 94分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

かつて、あのサム・ペキンパーが映画化を切望して果たせなかったという、レイ・ブラッドベリの幻想小説をディズニー製作によって完全映画化。10月のある夜、中西部の田舎町に突然現れたカーニバル一座。主人公の少年たちはそのカーニバルの中で秘かに行われている奇怪な儀式を目撃する。やがてカーニバルの座長は秘密を知った少年たちに迫るのだが……。カーニバルを乗せた列車がやって来るシーンを始めとする冒頭部は、さすが幽霊映画の傑作「回転」を撮ったJ・クレイトンだけあって、非常に幻想的で雰囲気満点なのだが、中盤あたりからごく普通のジュヴナイル路線になってしまい、原作の持つダークな魅力が発揮しきれたとは言えない。ペキンパーとディズニー、全く方向性の違うふたつの作家性の中で、この原作が本当に幸福な出逢いをできたのはどっちだったろうか……。

【クレジット】

監督	ジャック・クレイトン	Jack Clayton	
製作	ピーター・ダグラス	Peter Douglas	
製作総指揮	カーク・ダグラス	Kirk Douglas	(クレジットなし)
原作	レイ・ブラッドベリ	Ray Bradbury	
脚本	レイ・ブラッドベリ	Ray Bradbury	
撮影	スティーヴン・H・ブラム	Stephen H. Burum	
編集	バリー・マーク・ゴードン アーガイル・ネルソン・Jr	Barry Mark Gordon Argyle Nelson Jr.	
音楽	ジェームズ・ホーナー	James Horner	
ナレーター	アーサー・ヒル	Arthur Hill	
出演	ジェイソン・ロバーズ	Jason Robards	チャールズ・ハロウェイ
	ジョナサン・プライス	Jonathan Pryce	ミスター・ダーク
	ダイアン・ラッド	Diane Ladd	ナイトシェイド夫人
	パム・グリア	Pam Grier	ダスト・ウィッチ
	ロイヤル・ダーノ	Royal Dano	トム・フューリー
	ヴィダル・ピーターソン	Vidal Peterson	ウィル・ハロウェイ
	ショーン・カーソン	Shawn Carson	ジム・ナイトシェイド
	メアリー・グレイス・キャンフィールド	Mary Grace Canfield	ミス・フォーリー
	リチャード・ダヴァロス	Richard Davalos	ミスター・クロセッティ
	ジェイク・デンジェル	Jake Dengel	ミスター・テトリー
	ジャック・ドッドソン	Jack Dodson	ドクター・ダグラス
	ブルース・M・フィッシャー	Bruce M. Fischer	ミスター・クーガー

